

# BUSINESS REPORT

株式会社ベルーナ

第**47**期 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日

お 客 様 の 衣 食 住 遊 を  
豊 か に す る



## BELLUNA

証券コード：9997





お客様の需要変化を機会と捉え、  
外部環境の変化に対応した新たな  
商品・サービスの投入を進めることで  
顧客満足の新創と  
事業成長の実現を目指す。

代表取締役社長 安野 清

■ 当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は、新型コロナウイルスの国内感染が縮小し、行動制限の緩和により消費活動が回復傾向となる一方、急激な円安の進行やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰により物価上昇が進行しており、先行きは不透明な状況にあります。国内の個人消費につきましては、物価上昇の影響はあるものの、外出需要に伴う消費活動が活発化し、徐々に回復傾向になりつつあります。通信販売業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や接触回避の影響が弱まったものの、幅広い顧客層からの通販利用需要の拡大が継続しております。

■ 当期の概況

当社グループはアパレル・雑貨事業、化粧品健康食品事業、グルメ事業、ナース関連事業、データベース活用事業、呉服関連事業、プロパティ事業、その他の事業の8セグメントにおいて、1つ1つのセグメントを太く強くし、シナジー効果を発揮するポートフォリオ経営の成熟に取り組んで参りました。その結果、当連結会計年度の売上高は2,123.8億円(前年同期比3.5%減)となり、営業利益は112.2億円(同18.9%減)となりました。経常利益は資金調達に係る手数料が前年同時期より縮小したことなどにより124.6億円(同14.3%減)となりました。また、投資有価証券売却益が縮小したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は74.2億円(同27.3%減)となりました。

財務ハイライト(連結)

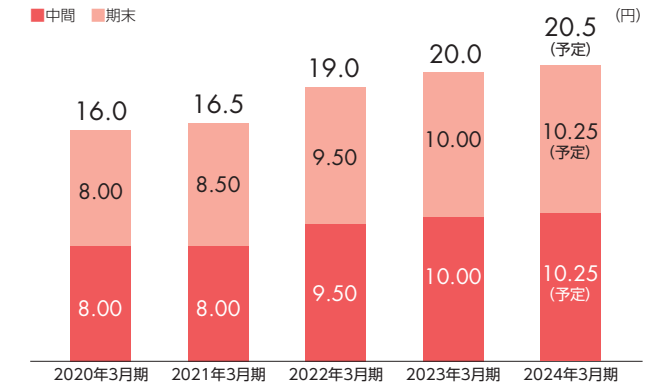
売上高	2,123.8億円 (前年同期比3.5%減)
営業利益	112.2億円 (前年同期比18.9%減)
経常利益	124.6億円 (前年同期比14.3%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	74.2億円 (前年同期比27.3%減)

■ 次期の見通し

今後の日本経済は、新型コロナウイルスの国内感染が縮小し、行動制限の緩和により消費活動が回復傾向となる一方、世界的な資源価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等、不安定な国際情勢により先行きは不透明な状況にあります。国内の個人消費につきましては、物価上昇の影響はあるものの、外出需要に伴う消費活動が活発化し、徐々に回復傾向にあります。通信販売業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や接触回避の影響が弱まったものの、幅広い顧客層からの通販利用需要の拡大が継続しております。また、通販事業におきましては、原材料価格や海上運賃の高騰により商品原価が上昇する傾向にあります。

このような環境の下、当社グループにおきましては、通販事業を中心に、消費者の需要変化を機会と捉え、新たな価値を生む商品及びサービスの投入を進め、新たな

1株当たり配当金の推移



顧客満足を創出することによる顧客数拡大・事業成長の実現を目指して参ります。また、呉服関連事業・プロパティ事業におきましては、国内外における行動規制の緩和やインバウンド需要の回復等、外部環境の変化に対応した新たなサービス・集客手法の開発及び実施により事業成長・収益確保を目指して参ります。

次期連結業績予想については、売上高は2,190億円、営業利益は140億円、経常利益は147億円、親会社株主に帰属する当期純利益は94億円となる見通しです。現在の見通しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定しうる影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見通しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通しが変わる場合には、速やかにお知らせいたします。

株主の皆様におかれましては、当社グループへの変わりぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アパレル・雑貨事業

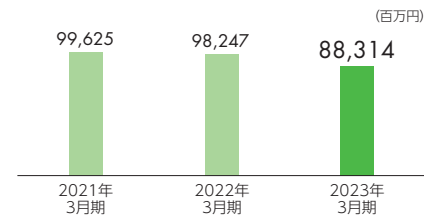
- ・ミセス層中心のカタログ、ネット通販
- ・モール展開 (RyuRyumall)
- ・ネット専業通販 (ミン・アイシーネット・丸長・セレクト)
- ・アパレル店舗 (BELLUNA)



売上高  
構成比  
41.6%

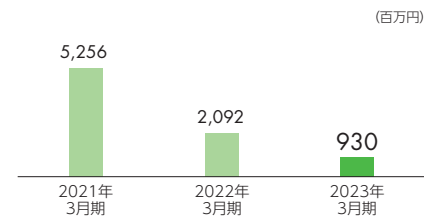
売上高

883.1億円 (前年同期比10.1%減)



セグメント利益

9.3億円 (前年同期比55.5%減)



通販においては、円安進行や原材料・資材価格の高騰を受け、商品価格の見直しや紙媒体における発行量の抑制を行い、収益性確保を優先した事業運営を行いました。アパレル店舗においては、商品価格の見直しの影響もあり来店顧客数及びレスポンスが鈍化しました。この結果、売上高は883.1億円(同10.1%減)となり、セグメント利益は9.3億円(同55.5%減)となりました。

化粧品健康食品事業

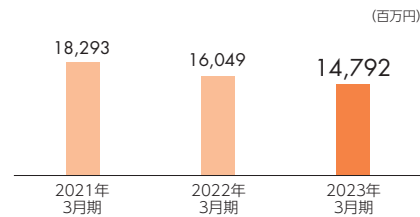
- ・化粧品通販 (オージュオ・なちゅライフ)
- ・健康食品通販 (リフレ)



売上高  
構成比  
7.0%

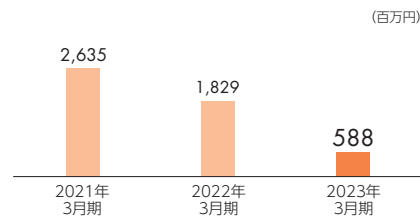
売上高

147.9億円 (前年同期比7.8%減)



セグメント利益

5.9億円 (前年同期比67.8%減)



化粧品販売事業においては、台湾における新型コロナウイルス感染拡大の影響による苦戦、国内の新規顧客獲得数の減少により減収となり、TVCM実施等により広告宣伝費が増加しました。健康食品通販事業においては、新規顧客獲得を強化した一方で既存顧客の売上が減少しました。この結果、売上高は147.9億円(同7.8%減)となり、セグメント利益は5.9億円(同67.8%減)となりました。

グルメ事業

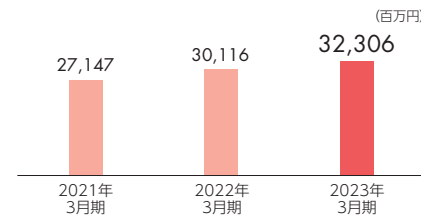
- ・食品通販、日本酒通販
- ・ワイン通販



売上高  
構成比  
15.2%

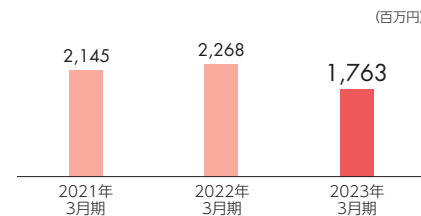
売上高

323.1億円 (前年同期比7.3%増)



セグメント利益

17.6億円 (前年同期比22.3%減)



新型コロナウイルス感染拡大の影響が一巡し、既存顧客のレスポンスが鈍化傾向となりましたが、おせち販売の拡大やネット広告等による新規顧客獲得の拡大により増収となりました。また、新規顧客獲得拡大により広告宣伝費が増加しました。この結果、売上高は323.1億円(同7.3%増)となり、セグメント利益は17.6億円(同22.3%減)となりました。

ナース関連事業

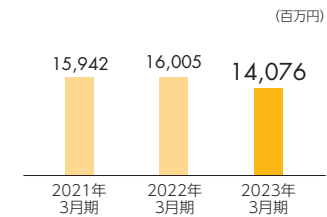
- ・看護師向け通販 (ナースリー・アンファミエ)
- ・看護師人材紹介 (ナースキャリアネクスト・JOB STUDIO)



売上高  
構成比  
6.6%

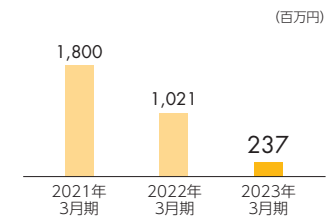
売上高

140.8億円 (前年同期比12.1%減)



セグメント利益

2.4億円 (前年同期比76.8%減)



TVCM等の積極的な広告宣伝を行った一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響が一巡し、前年同時期に特需のあったマスクやパルスオキシメーター等の医療雑貨・消耗品需要が縮小しました。顧客レスポンスの鈍化を受け、紙媒体における発行量の抑制を行いました。この結果、売上高は140.8億円(同12.1%減)となり、セグメント利益は2.4億円(同76.8%減)となりました。

データベース活用事業

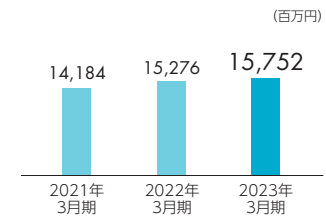
- ・封入・同送サービス (ペルーナダイレクト)
- ・通販代行サービス (BBS)
- ・会員向けファイナンス事業 (ペルーナノータス)
- ・物流3PL事業 (BGL・レーベル)



売上高  
構成比  
7.4%

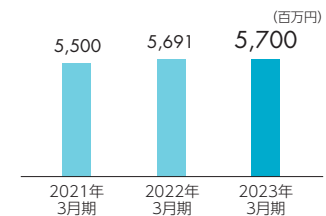
売上高

157.5億円 (前年同期比3.1%増)



セグメント利益

57.0億円 (前年同期比0.2%増)



封入・同送サービスにおいては、アパレル・雑貨事業における成長鈍化の影響により減収となりました。ファイナンス事業においては、新規顧客獲得の拡大により増収となりました。この結果、売上高は157.5億円(同3.1%増)となり、セグメント利益は57.0億円(同0.2%増)となりました。

呉服関連事業

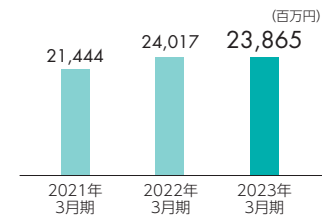
- ・和装店舗 (BANKANわものや・さが美・東京ますいわ屋)
- ・ホテル事業
- ・大学生の卒業式袴レンタル (マイム)
- ・太陽光発電事業



売上高  
構成比  
11.2%

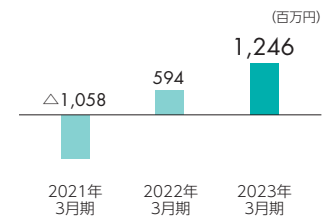
売上高

238.7億円 (前年同期比0.6%減)



セグメント利益

12.5億円 (前年同期比109.7%増)



衣裳レンタル事業においては、大学卒業式の袴レンタルの拡大により増収となりました。和装販売事業においては、(株)さが美、(株)東京ますいわ屋における構造改革が浸透し、収益力が向上しました。この結果、売上高は238.7億円(同0.6%減)となり、セグメント利益は12.5億円(同109.7%増)となりました。

プロパティ事業

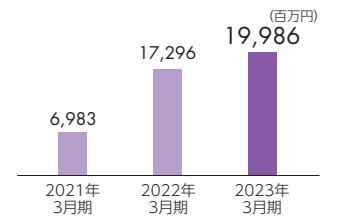
- ・不動産事業 (オフィスビルなどの賃貸・開発・販売)
- ・ホテル事業
- ・太陽光発電事業



売上高  
構成比  
9.4%

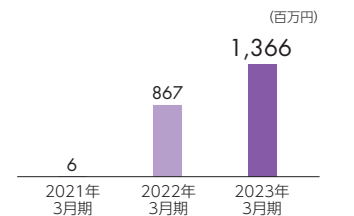
売上高

199.9億円 (前年同期比15.6%増)



セグメント利益

13.7億円 (前年同期比57.6%増)



前年同時期に海外不動産売却があり大幅な減収減益影響があった一方、ホテル事業においては、行政機関による移動制限・入国規制の影響が縮小し、前期に開業したホテルの稼働率も向上しました。この結果、売上高は199.9億円(同15.6%増)となり、セグメント利益は13.7億円(同57.6%増)となりました。



## 銀座・コリドー街に「滞在型感動創出拠点」の誕生 銀座7丁目に複合商業施設 「GRANBELL SQUARE」を開業

銀座7丁目コリドー街の中心に、地下3階・地上10階建て、延床面積10,789.52㎡のホテル・商業施設等から成る複合商業施設「GRANBELL SQUARE」を開業しました。

銀座の中でもカジュアルな特異性を放つ名物通り・コリドー街の「感度」をワンランク上に昇華させ、街の回遊性をもたらす「滞在型感動創出拠点」を目指し、どこか懐かしさを感じさせるクラシカルなデザインと銀座の街に馴染む時代を先取りしたシャープなデザイン、上質かつ洗練された空間で皆様をお迎えします。

2023年9月のグランドオープンに先駆け、4月にはホテル施設「GINZA HOTEL by GRANBELL」、スパサウナ施設「SPA&SAUNA コリドーの湯」がオープンしました。その他飲食店、ルーフトップレストラン、シンガポール大手と組んだナイトクラブ等も順次オープンして参ります。

### GINZA HOTEL by GRANBELL

客室数：全102室

フロア：5階 フロント、5～9階 客室

公式サイト：<https://www.granbellhotel.jp/ginza/>



フロントロビー



客室

### SPA & SAUNA コリドーの湯

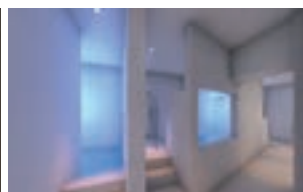
施設内容：男性 内湯・オートロウリュサウナ・水風呂・外気浴場・洗い場

女性 内湯・オートロウリュサウナ・スチームサウナ・水風呂・外気浴場・洗い場  
ライブラリーラウンジ、リクライナースペース、ワーキングスペース

フロア：4階



オートロウリュサウナ



浴室

## 北海道・洞爺の自然に囲まれたリゾートホテル 「洞爺サンパレス リゾート&スパ」及び「ザ・レイクスweet湖の栖」を取得

2023年3月31日、北海道・洞爺湖にあるリゾートホテル「洞爺サンパレス リゾート&スパ」及び「ザ・レイクスweet湖の栖」をKarakami HOTELS&RESORTS株式会社より取得しました。北海道は将来的に国内外からのお客様が増加していくことが見込まれます。今後、本ホテルの魅力をお客様に最大限伝えていけるよう取り組んで参ります。



### 洞爺サンパレス リゾート&スパ

北海道・洞爺湖温泉最大のリゾートホテルです。全324室の客室は、全て湖側のレイクビューとなっており、洞爺湖の美しい景色を眺望できます。温泉は、湖と一体となるかのような露天風呂やジャグジー、寝湯、サウナなど多彩な浴槽をご用意。屋内にはお子様から大人まで楽しめるウォーターアミューズメントを完備しています。レストランでは、海の幸・山の幸から旬の食材をふんだんに使用したお料理の数々を楽しめます。



### ザ・レイクスweet湖の栖

洞爺湖との一体感を満喫できるインフィニティ設計の温泉が自慢の、ハイグレードホテルです。全80室の客室には、温泉露天風呂・テラスを完備しています。最上階の露天風呂は、湖に向かって突き出た構造となっており、湖上に浮かんでいるような至福の時を満喫できます。レストランは、湖の最も近くに位置し、水盤の視覚効果により洞爺の自然に溶け込む空間となっています。

## 「My Wine Club」がワイン通販国内売上高14年連続No.1獲得！

当社が展開するワイン専門通販「My Wine Club (マイワインクラブ)」は、東京商工リサーチの「国内ワイン通販市場シェアに関する調査」で、通販国内売上高14年連続1位を獲得しました。「My Wine Club」は2021年度ワイン売上高85億円を突破し、2021年度「国内ワイン通販市場シェアに関する調査」において通販国内売上高14年連続第1位となりました。ベルーナグループでは、“お客様の衣食住遊を豊かにする商品やサービスの提供”という経営理念の下、今後も専任ソムリエとスタッフで世界17か国以上から厳選した美味しいワインをお客様へお手頃価格で提供し続けて参ります。



### 高級ワインサイト「ELEVIN」をオープン

高級ワイン専用サイト「ELEVIN (エレヴァン)」の展開を開始しました。ワイン通販事業20年以上の実績と経験を基に、プレミアムや希少なワインをご提供します。

公式サイト：  
<https://www.elewin.jp/>



当社では、株主の皆様からの日頃のご支援に対する感謝の気持ちを込めまして、株主優待制度をご用意しています。**1**「優待割引券、優待ポイント」または**2**「自社取扱商品」及び**2**「ベルーナグループが運営及び提携するホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ倶楽部、SPA & SAUNA コリドーの湯で使用できる優待割引券」をご利用いただけます。内容やご利用方法をご確認の上、ぜひご利用いただければ幸いです。今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主優待内容

**1** 「優待割引券、優待ポイント」または「自社取扱商品」から選択

**1** 当社運営の通信販売で使用できる優待割引券



**2** ベルーナオンラインストアで使用できる優待ポイント



**3** 自社取扱の食品またはワインまたは日本酒



※お届け時期については株主様ご優待券をご参照ください

保有株式数	優待の内容 優待割引券、優待ポイントまたは自社取扱商品から選択
100株以上500株未満	<ol style="list-style-type: none"> <li>1,000円分の通信販売優待割引券</li> <li>1,000円分の優待ポイント</li> <li>1,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒</li> </ol>
500株以上1,000株未満	<ol style="list-style-type: none"> <li>3,000円分の通信販売優待割引券</li> <li>3,000円分の優待ポイント</li> <li>3,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒</li> </ol>
1,000株以上	<ol style="list-style-type: none"> <li>5,000円分の通信販売優待割引券</li> <li>5,000円分の優待ポイント</li> <li>5,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒</li> </ol>

**2** 「ベルーナグループが運営及び提携する国内全ホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ倶楽部、SPA & SAUNA コリドーの湯で使用できる優待割引券」から選択

ホテル	飲食店	その他
 GINZA HOTEL by GRANBELL  定山溪ビューホテル	 銀座のステーキ	 小幡郷ゴルフ倶楽部 (群馬)

- ・定山溪ビューホテル (北海道)
- ・札幌グランベルホテル (北海道)
- ・すすきのグランベルホテル (北海道)
- ・山の神温泉優香苑 ※ (岩手)
- ・裏磐梯レイクリゾート (福島)
- ・ルグラン旧軽井沢 (長野)
- ・ルグラン軽井沢ホテル&リゾート (長野)
- ・那須塩原ステーションホテル ※ (栃木)
- ・渋谷グランベルホテル ※ (東京)
- ・赤坂グランベルホテル ※ (東京)
- ・新宿グランベルホテル ※ (東京)
- ・恵比寿ホリックホテル ※ (東京)
- ・目黒ホリックホテル ※ (東京)
- ・赤羽ホリックホテル ※ (東京)
- ・京都グランベルホテル (京都)
- ・京都グランベルホテルhanareya (京都)
- ・大阪グランベルホテル (大阪)
- ・梅田ホリックホテル (大阪)
- ・ホテル浜比嘉島リゾート (沖縄)
- ・GINZA HOTEL by GRANBELL (東京)

- ・銀座のステーキ 銀座本店 (東京)
- ・銀座のステーキ 銀座中央店 (東京)
- ・銀座のステーキ 渋谷店 (東京)
- ・銀座のステーキ 恵比寿店 (東京)
- ・銀座の蕎麦屋 (東京)
- ・銀座焼肉 にく崎 (東京)

- ・SPA & SAUNA コリドーの湯 (東京)
- ・小幡郷ゴルフ倶楽部 (群馬)
- ・SPA & SAUNA コリドーの湯 (東京)

※提携ホテル

保有株式数	優待の内容
100株以上500株未満	券面額 1,000円の割引券 2枚
500株以上1,000株未満	券面額 1,000円の割引券 6枚
1,000株以上	券面額 1,000円の割引券 10枚

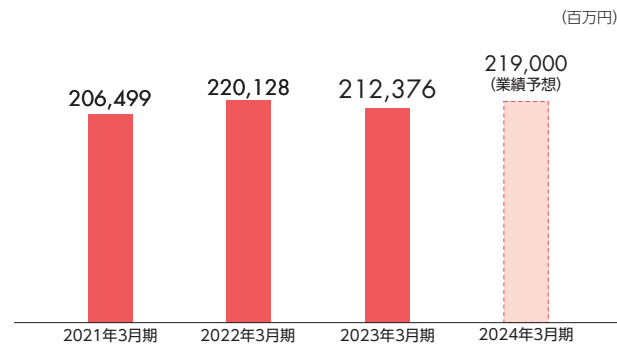
※ご利用は現地決済に限り、事前決済は適用不可となります。  
※ご利用方法は「株主様ご優待券」冊子のP10をご覧ください。

発送時期・有効期限		
	発送時期	有効期限
期末	6月下旬	7月1日～12月31日
中間	12月上旬	12月1日～6月30日

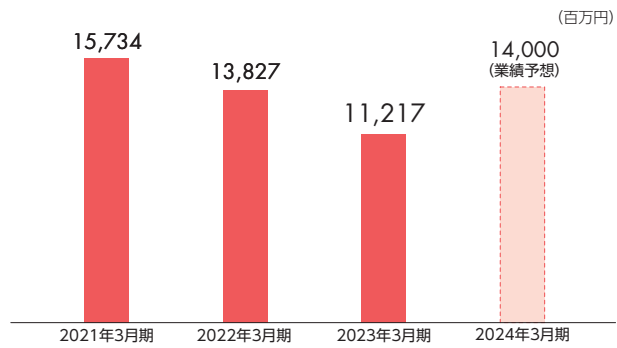
対象となる株主様

毎年3月末及び9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株 (1単元) 以上保有の株主様

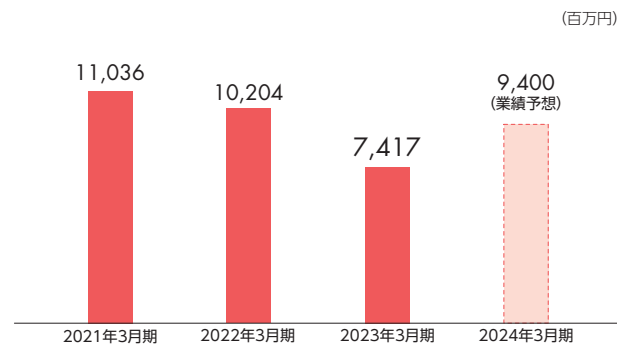
売上高



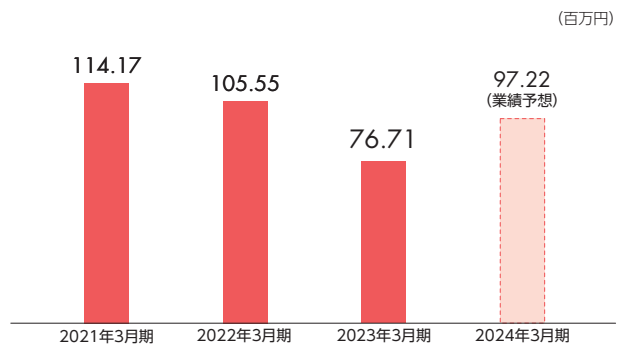
営業利益



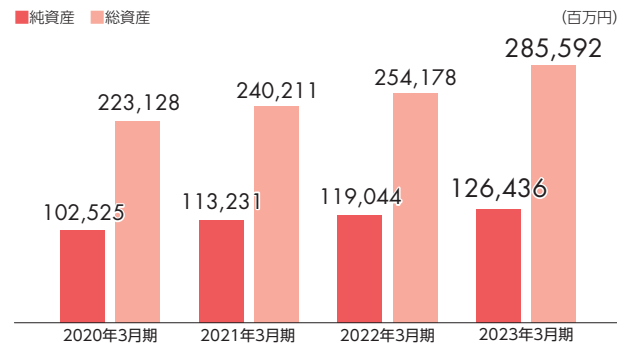
親会社株主に帰属する当期純利益



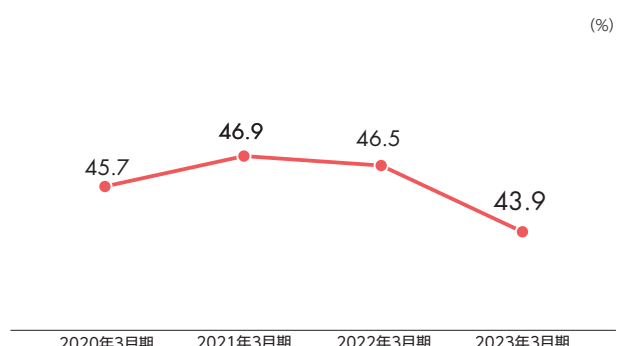
1株当たり当期純利益



総資産・純資産



自己資本比率



連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 2022年3月31日現在	当連結会計年度 2023年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	118,133	122,664
固定資産	136,045	162,928
<b>1 資産合計</b>	<b>254,178</b>	<b>285,592</b>
<b>負債・純資産の部</b>		
流動負債	64,904	64,587
固定負債	70,229	94,568
<b>2 負債合計</b>	<b>135,134</b>	<b>159,155</b>
株主資本	124,228	129,765
その他の包括利益累計額	△5,959	△4,268
非支配株主持分	775	940
<b>3 純資産合計</b>	<b>119,044</b>	<b>126,436</b>
負債純資産合計	254,178	285,592

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

- 1 資産合計**  
前期末に比べ、31,413百万円増加しました。これは主に、流動資産において、仕掛販売用不動産が減少した一方で、現金及び預金、営業貸付金、商品及び製品、販売用不動産が増加したこと、また、固定資産において、建物及び構築物、建設仮勘定が増加したことによるものであります。
- 2 負債合計**  
前期末に比べ、24,021百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金、契約負債、1年内償還予定の社債が減少した一方で、流動負債において、電子記録債務、短期借入金、未払費用が増加したこと、また、固定負債において、長期借入金が増加したことによるものであります。
- 3 純資産合計**  
前期末に比べ、7,392百万円増加しました。この結果、自己資本比率は43.9%となりました。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当連結会計年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日
売上高	220,128	212,376
売上総利益	129,305	125,701
営業利益	13,827	11,217
経常利益	14,537	12,459
税金等調整前当期純利益	15,313	11,953
法人税、住民税及び事業税	4,996	4,503
法人税等調整額	50	△6
当期純利益	10,265	7,456
非支配株主に帰属する当期純利益	60	39
親会社株主に帰属する当期純利益	10,204	7,417

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当連結会計年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,154	8,241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,033	△29,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,652	23,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	△162	414
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,389	2,259
現金及び現金同等物の期末残高	29,569	31,828

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

第47回定時株主総会決議ご通知

2023年6月28日開催の当社第47回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

- 報告事項**
- 第47期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
  - 第47期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
- 本件は、上記事業報告、連結計算書類、計算書類の内容及び連結計算書類の監査結果を報告いたしました。

- 決議事項**
- 第1号議案 剰余金処分の件**  
本件は、原案のとおり承認可決されました。第47期期末配当金は、1株につき10.0円と決定いたしました。
- 第2号議案 取締役(監査等委員であるものを除く。)5名選任の件**  
本件は、原案のとおり承認可決されました。取締役(監査等委員であるものを除く。)に安野清、安野雄一郎、戸内順子、松田智博、宮下正義の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第3号議案 監査等委員である取締役2名選任の件**  
本件は、原案のとおり承認可決されました。監査等委員である取締役に山縣秀樹、渡部行光の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、山縣秀樹、渡部行光の両氏は社外取締役であります。



■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億12百万円		
創業	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	3,579名 (連結)		
事業内容	カタログ、ネット等による通信販売を核に、実店舗、受託、金融、プロパティ、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社		

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	安野 雄一郎	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	浜本 淳子
取締役	松田 智博		
取締役	宮下 正義		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)
大宮オーダーレセプションセンター	(埼玉県さいたま市)
A-GEOタウン	(埼玉県上尾市)
アリコベルオオフィス	(埼玉県上尾市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数 (除く自己名義)	27,063名

■ 大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージアセットマネジメント	41,383	42.8
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	6,121	6.3
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,038	6.2
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,230	3.3
安野 清	2,916	3.0
安野 公	2,914	3.0
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,591	1.6
住友生命保険相互会社	1,164	1.2

※持株比率は自己株式 (554,248株) を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
18.8%	20.9%	44.1%	16.2%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載 URL <a href="https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/">https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/</a>

株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 及 お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
上場金融 商品取引所	東京証券取引所プライム市場